



▲身を低くして煙の中を避難する参加者

防災訓練で煙の中での避難を体験 【希望ヶ丘地域市民センター】

希望ヶ丘学区自治振興会本町分会と希望ヶ丘本町自治会では、10月25日に防災訓練を実施しました。当日は約60人の方が参加され、甲南消防署のご協力により、スモークマシンを使って煙の充満する部屋の中を避難する訓練を体験しました。参加された皆さんは、予想以上に視界が失われることに戸惑っていたようで、いざという時に備えて実際に体験することの大切さを再確認していました。またその後、非常食の試食や、各班に分かれての話し合いなどを行いました。

「天平の地ふれあい市場」が開催 【雲井地域市民センター】

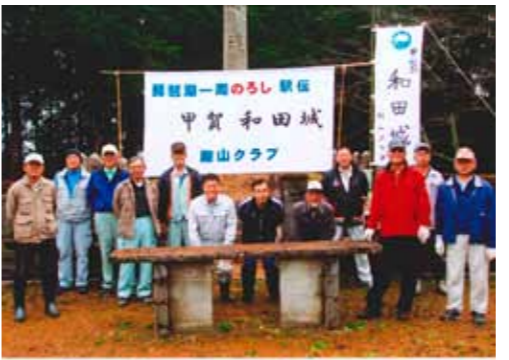
雲井自治振興会では、11月8日に、黄瀬交流館「さくら」横広場で、第5回天平の地ふれあい市場が雲井地域5区の皆さんの協力により開催されました。雲井地域で採れた新鮮野菜や各種加工品の販売、一般参加によるフリーマーケットや、雲井小学校4年生以上の児童により、職業体験や地域の人々との交流を目的とした「子どもショップ（駄菓子屋さん）」が開かれ、地域内外から訪れた約450人の方が買い物を楽しみました。



▼多くの人々にぎわった市場

琵琶湖一周のろし駅伝に殿山クラブ参加 【油日地域市民センター】

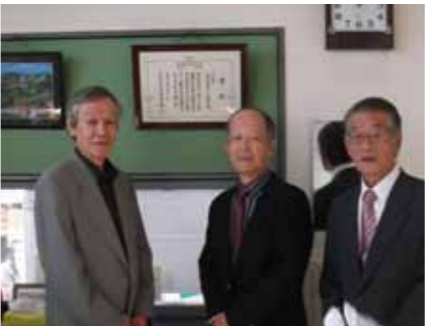
11月23日に「第14回近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝」が開催され、甲賀の和田城としてのろしを殿山クラブが上げました。殿山クラブは和田区内の有志25人の会員により、殿山に展望台を設置するなどの整備管理や城跡見学ボランティアガイドなどの活動をされています。のろし駅伝には6回目の参加で、殿山の見通しの良い場所に発煙台を準備され、薄曇りの天候でしたが風はなく、定刻の10時30分に無事のろしが上がりました。



▲駅伝に参加した殿山クラブの皆さん

祝表彰! 貴生川老人クラブ連合会 【貴生川地域市民センター】

貴生川老人クラブ連合会が「生きがい活動に継続して取り組み、地域発展に寄与された」として県知事から表彰されました。同会には、現在1200人の会員が登録されており、さまざまな活動に取り組んでおられます。中でも約40年前から続けてこられた菊づくりが優れた活動と賞されました。会長の木田さんは「先人の功績が認められて大変うれしい」と笑顔で話されました。賞状は皆さんに見ていただけるよう、貴生川地域市民センターに掲示しています。



▲表彰を受けられた老人クラブの皆さん

懐かしい紙芝居をお届けします

今から4年前、水口町の岩上自治振興会が生涯学習講座として「ミニミニ講座」を開講しました。今回は「ミニミニ講座」からサークルに発展し、活動されている「岩上紙芝居の会」を紹介いたします。

楽しい時間を共有したい

平成25年に殿城文夫さんがサポーターとなり始まったミニミニ講座「岩上紙芝居の会」でしたが、受講者の「もっと続けたい」という気持ちからサークルに発展し、今年で3年目になります。「見てくださるみなさんと共に楽しい時間を過ごそう」という目標のもと、2カ月に

一度の学習会や、公演前の練習に励んでおられます。定期的に保育園や老人ホーム、デイサービスなどへ1〜2人で自分たちが図書館で選んできた紙芝居を持って公演に行かれます。公演先のみなさんはいつも楽しみに待つておられ、サークルのみなさんは「今日も元気をもらっただな」と感じるそうです。みなさんは「依頼があれば市内どこへでも出かけて行きますよ」と話し、子ども会や地域の行事などで積極的に公演されています。紙芝居だけでなく歌や手遊び、オリジナルクイズなどをして一緒に楽しんでもらえるように工夫されています。

温もり伝わる紙芝居

11月25日、学習会を取材させていただきました。近々、大きな会場で公演されるため、配役を決め全員でプロジェクトを使って練習をされていました。全員が役になりきり、感情を込めて演じておられ、効果音や小道具なども用いっておられます。「何度か文章を読み、情景を思い浮かべ登

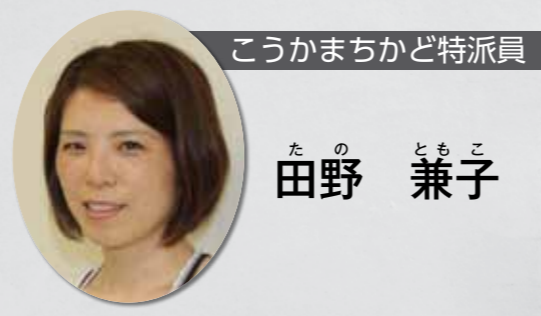


▲プロジェクターを使った学習会の様子

楽しい時間を共有したい

講師の殿城さんは、「学んだことをほかの人に伝え、自分自身も学び、人との輪の広がりをめざし、人の助けになり、人に喜んでいたことが本当の生涯学習です」とおっしゃっています。この思いがきっかけとなり、ミニミニ講座を開講され、サークルの目標にもつながっているのだと感じました。

岩上紙芝居の会 代表：武田まゆみさん
062-4485050
※紙芝居に興味のある方、お気軽にご連絡ください。



こうかまちかど特派員

たの ともこ 田野 兼子



▲平成26年夏の公演後、殿城さん（中央）とみなさんで記念撮影